

☆☆情コミプリント（前期）☆☆

📖ドイツ語ＢⅠ(飯森 先生)📖

Lektion 1: Hier wohne ich

-- 私はここに住んでいます --

ここに小さな街があります。この街はドイツの北ドイツにあります(位置しています)。私はここに住んでいます。

この街は小さいです。そのうえ、とても小さいです。ここには学校が一つと、銀行が一つと、病院が一つしかありません。そして、書店も一つしかありません。私はそこで働いています。

その学校は、少し古いです。しかし、この街の子どもたちは、この学校が好きです。ウーリはそこで教えています。彼は教師です。

その病院は大きくないですが、現代的です。そこでイルーネが医師として働いています。イルーネはドイツ出身ではなく、ギリシャから来ました。イルーネはウーリのガールフレンドです。

その書店は小さく、居心地がよいです。その店には読書コーナ(耽読コーナ)もあります。しばしば、子どもがそこに来て、そこで本を読みます。朝、イルーネが来て新聞を買います。そして、ウーリがときに本か雑誌を買います。

私はウーリとイルーネをもう長い間知っています。二人は両方とも、とても親切です。ときに私達は、一緒にバスケットボールをして遊びます。あるいは、ビールかワインを飲んだりします。この街には当然、飲み屋もあります。しかし、ただ一件だけなのです。というのは、この街はとても小さいのです…。

Lektion 2: Ein Sonntag im Park

-- 公園での日曜日 --

近くに公園があります。日曜日に私はしばしばそこに行きます。公園はいつもにぎやかです(何かが起きています)。

子どもたちが草むらで遊んでいます。父親たちや母親たちは気持ちよさそうにベンチに座っています。何人かの人たちが湖のまわりを散歩している。恋人たちはボートに乗ったり、草むらに寝そべったりしています。

公園の入り口は階段です。そこでは人がいろいろなものを売っています(そこではいろいろなものが売られています)。メキシコから来たリカルドのところには一点あたり30マルクの絵があります。その絵は彼自身が描いたものです。

イスラエルから来たサラは、指輪(イヤリング)、プレスレット、ネックレスといった装飾品を売っています。そしてセネガルから来たムーサの前には、アフリカの楽器が置いてあります。時として、彼はドラムやフルートを演奏します。そもそも、公園にたくさんの音楽家たちがいます。橋の上でロシアから来た学生がバラライカを演奏しています。彼はちょうどヨーロッパじゅうを旅しています。彼は旅行のためにバラライカでお金を稼いでいます。彼はこれからさらに(先)、ドイツからオランダに向かって行きます。

大道芸人のピエールは特に子どもたちに好まれています。彼は曲芸師です。そして、彼は手品師です。さらに、彼は道化師です。しかし、実際は彼は学生です。彼はパリから来て、ドイツ(の大学)で建築学を専攻しています。彼はもう、とても上手くドイツ語を話します。

雨の時でも、私は公園に行くのが好きです。そのときは、少ししか(ほとんど)人はいません。私は木々と湖をじっと眺めます。そして、私は考えます: 今日、みんなはどこにいるんだろう、リカルド、サラ、ムーサ、ピエール? ほとんど私は少し悲しくなります。

Lektion 3: Hilfst du mir, so helfe ich dir.

-- 君が私を助けたら、私が君を助けます --

一月前から、私はコンピュータを持っています。問題がたくさんあります。時々、マウスが機能しません。時々、プログラムが作動しないということがあります。クラッシュすることさえ、まれではありません。私自信はテクニカルなことについては、何も分かりません。もし専門家を呼んだなら、それはたいいてい、かなり高くなります。

しかしながら、そうこうするうちに、問題は全て片づきます（全てのことは、もはや問題ではなくなります）。というのは、一週間前から、私は「タレント・クラブ」の会員です。あなたは、「タレント・クラブ」が何であるか知っていますか？ 知らない？ 分かりました、それではそれをあなたに説明します。

「タレント・クラブ」は銀行のようなものです。そこでは、しかしながら、お金ではなくて、才能を貯めます。どんな人でも何かの才能を持っています。例えば、レナーテは人を教えるのが得意です。ヘルムートは料理が抜群です。そして、ハンスは芝生を刈るのが好きです。かなりの人々は、それどころか2つあるいはそれ以上の才能を持っています。

どんな才能でも価値があります。例えば、芝刈り 1 時間で 80 ポイントもらいます； 赤ちゃんの世話は 1 時間で 60 ポイントです、というのは、それはそれほどきつくないからです。それゆえに、3 時間の芝刈りをすると、彼の口座に 240 ポイント貯まります。このクラブはポイントを管理しています。助けが必要なときは、たいいていはクラブに電話をかけることで十分です。ここに例があります：

リーザは窓をきれいにするのがキライです。彼女の窓はいつも汚れています。リーザはコンピュータに詳しいです。毎日、彼女はパソコンを使います。私はこれに対して、窓をきれいにするのが得意です。私の窓はいつもきれいです。

お分かりですか（あなたは、今、分かりますか）？ 私が再びコンピュータで困っていたら、私はクラブに助けを頼みます。そのとき、リーザが私のところに来て、私を助けてくれます。そして、リーザの窓が再び汚れたとき、私は彼女のところに行き、窓をきれいにします。完全にお金はいりません（お金ナシです）。

本当に、こんな「タレント・クラブ」はスゴい！ あなたもそう思いませんか？

Lektion 4: Über den Wolken

-- 雲の上 --

私は飛行機に乗るのが好きです。飛行機が全力で滑走路を音を立てて走り、それからゆっくり上昇するときの感覚が特に好きです。雲の上に出ると、私はしばらくの間、日常の暮らしを忘れます、私はのびのびとした気持ちになります（私の考えは突然自由になります）。ラインハルト・マイが歌っているように、「雲の上は無限に自由であるに違いない（自由に無限であるに違いない）」。

大空港の雰囲気は私は好きです。そこでは世界中から来た人々と出会います。ルフトハンザの窓口にドイツ人のビジネスマンが立っています。彼はダラス（米）に行くつもりです。ダラスで彼は国際会議に出席するつもりです。出発ロビーのベンチには 2 人の若い中国人女性が座っています。彼女たちは待たなければなりません、というのはロンドンから来る彼女たちの飛行機が遅れているからです。その 2 人はシンガポールに行くつもりです。しかし、晩方になってやっと飛ぶことができます。エアーフランスの窓口のアラビア人の家族は、荷物が多すぎます。その男はののしっています——外国語で——というのは、彼は 300 マルクを重量オーバーのため支払わなければならないからです。

空港の建物の窓から、私は飛行機をみます。小さい飛行機、大きい飛行機、新しい型の飛行機、旧式の飛行機。多くの航空会社を私は知っています。しかし最近、しばしば新しい航空会社を見かけます。多くの航空会社は色とりどりのエキゾチックなロゴマークを持っています。それらはカザフスタンやウズベキスタンやタジキスタンのような国々から来ています。世界は今日、なんて小さいんでしょう。

しばしば私は空港に行きます、というのは、私はそこに友達を迎えに行かなければならないからです。しかしまた、それから私はいい気持ちで待合室をぶらぶらします、そして大きな世界の香りを楽しみます。多くの旅行者をみるよ、ちょっと旅ごころを感じるがよくあります（まれではありません）。